

令和7年(2025年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年1月 数 量 (トン)	2025年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候に恵まれ順調な入荷であったため、数量は増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	847	139	113%	164%
2		はくさい	数量は増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	772	149	114%	248%
3		きゅうり	宮崎県産・高知県産中心に高知県産・茨城産を販売。数量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	185	509	95%	105%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。数量はかなり増加しました。平均単価かなり高く推移しました。	61	681	124%	132%
5		馬鈴薯	北海道産の品質劣化、九州産も長雨の影響で数量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	232	261	71%	206%
6	果 実	みかん	数量は減少し、平均単価は大幅に高く推移しました。	446	512	84%	151%
7		りんご	作柄不良に加え、着色不良果等が多発したことにより数量はかなり減少し、平均単価は高く推移しました。	127	466	68%	117%
8		いちご	全体的に苗の生育が良くなく、前年と比べると数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	77	2,110	67%	115%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上